

2025年度 受講案内

願書受付

入学手続きに必要な書類を当神学校に請求してください。
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)

- * 願書に必要事項を記入の上、
3月7日(金)までに郵送してください。
- * 本科・教会音楽科の入学希望者は
牧師の推薦が必要です。
- * 専攻科入学希望者は教会総会の推薦が必要です。

入学面接

3月21日(金) 午後6時30分

- * 但し、専攻科は筆記試験、
教会音楽科は実技試験を行います。

入学礼拝

4月4日(金) 午後6時30分

於：茗荷谷キリスト教会

学期

■ 前期 4月7日(月)～8月7日(木)

<夏期休講 8月8日(金)～8月30日(土)>

■ 後期 10月6日(月)～2月28日(土)

<冬期休講 12月16日(火)～1月3日(土)>

休業日

主日、水曜日、国民の祝日
(但し2月11日は除きます)

受講時間

■ 月曜・火曜・木曜・金曜日

午後7時～8時40分(100分)

■ 土曜日

① 9時40分～11時20分(100分)

② 11時30分～12時30分(60分)

受講料

	本校学生	本校学生以外の受講者	
		一般受講	後援会受講
科目4単位ごと	25,000円	30,000円	17,500円 ※通信事務費を含む
科目2単位ごと (夏期・冬期講座、合唱、他)	12,500円	15,000円	7,500円
通信事務費1科目ごと	5,000円	5,000円	5,000円 ※教会共同受講の場合は免除
教会実習 / 卒業論文 (専攻科3年目)	30,000円		
専攻実技(4単位)	75,000円		

※「一般受講」は公開講座及び土曜日の講座に限る(16単位相当の取得までを認める)。

※「後援会受講」は年会費5,000円かオンライン月々支援が必要となる(平日の一般科目も受講可能)。

※ 専攻科生は、1年目・2年目のみ年間200,000円を納め、すべての開講科目を受講できる。

3年目は、教会実習、卒業論文は各30,000円、その他の科目を受講する場合は、1科目ごとに別途受講料が必要となる。



後援会の会費は **月々500円から** ご支援いただけます。

ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。
スマホやタブレットからお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

◀ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)

2025年度 開講科目

前期

曜日	科目名	単位	共通／必修	担当講師
月	公開講座 「新約聖書学Ⅰ」	4	本科・音楽科必修	山野 貴彦
月	バプテスト史	4	専攻科必修	城倉 啓・林 健一・藤井 秀一
火	公開講座 「旧約聖書学Ⅰ」	4	本科・音楽科必修	渡邊 さゆり
火	神学入門	4	本科・音楽科必修	濱野 道雄
木	ギリシャ語Ⅰ	4	本科必修	平野 健治
木	牧会学	4	専攻科必修	林 健一
金	公開講座 「説教学Ⅰ」	4	本科必修	片山 寛
金	礼拝学Ⅰ(賛美歌学)	4	本科・音楽科必修	江原 美歌子
土	公開講座 「合唱」	2	音楽科必修	山中 臨在
土	音楽基礎・実践(楽典・ソルフェージュ)	4	音楽科必修	十時 節子
夏期	公開講座 「日本国憲法とキリスト教」 (8月11～12日)	2	専攻科必修	伊藤 朝日太郎

▶「教会実習」学生主任担当、「卒業論文」教務主任担当、「専攻実技」音楽科主任担当

後期

科目名	単位	担当講師	科目名	単位	担当講師
宣教学	4	小牧 由香	礼拝学Ⅱ	4	小海 基
神学実践	4	濱野 道雄	説教学Ⅱ	4	片山 寛
旧約聖書学Ⅱ	4	日高 嘉彦	キリスト教音楽史	4	星野孝子・山寄美奈
ヘブル語Ⅰ	4	城倉 啓	公開講座 「合唱」	2	山中 臨在
新約聖書学Ⅱ	4	高橋 周也	会衆賛美Ⅰ	4	菊地るみ子・西野修平
冬期公開講座	2	小友 聡			

※ その他ビデオのみの講義として「キリスト教史」(4単位・本科必修)、
「ヘブル語Ⅱ」(4単位・専攻科必修)、「ギリシャ語Ⅱ」(4単位・専攻科必修)、「アラム語」(4単位)

▶ 開講曜日と公開講座については後期受講案内にてお知らせします。

2025年度 前期 講義シラバス

月 公開講座 「新約聖書学Ⅰ」～ともに学ぼう、新約聖書の基礎 (講師：山野 貴彦)

本科目では新約聖書学の基礎知識を固めるため、いわゆる緒論(「新約聖書」という歴史的事象、新約聖書各文書の成立状況と基本的な内容)に該当する事柄を扱う。参加者各位におかれては、予め当該回の聖書文書や参考文献の該当箇所を読んで講義に臨みたい。

テキスト：レジュメを配信する。 **参考書**：原口尚彰『新約聖書概説』教文館 2019年(オンデマンド版)、F. ハーン『新約聖書神学Ⅰ上下/Ⅱ上下 教文館 2006-2019年

月 「バプテスト史」～連盟70年の歩みー私たちはどこからどこへと向かうのか (講師：城倉・林・藤井)

日本バプテスト連盟の歴史をたどりながらわたしたちはどこから来てどこへと向かおうとしているのかを共に考える講義とします。基本的にテキスト『日本バプテスト連盟七十年史』を少しずつブックレポートのようにして読み進めます。歴史の出来事を批判的に捉え直して、なぜ今があるのかを考える機会としたいです。七十年史の特徴の一つは、五つの「テーマ」の存在です。テーマを議論の切り口にもしながら、わたしたちの現在歩んでいる歴史を検証していくひと時となればと願います。

テキスト：『日本バプテスト連盟 七十年史』日本バプテスト連盟 2018年 **参考書**：『日本バプテスト連盟史(一八八九―一九五九)』日本バプテスト連盟 1959年、『日本バプテスト連盟五十年史』日本バプテスト連盟 1997年

火 公開講座 「旧約聖書学Ⅰ」～じっくり読もう旧約聖書 (講師：渡邊 さゆり)

旧約聖書を一緒に読みましょう。この講座では旧約聖書の各書が記され、編集され、伝えられた経緯に留意し、旧約全体を概観します。受講者と講師の経験や背景を分かち合い、多様性に富む聖書の言葉を共同で読むことの素晴らしさを実感できる講座にしたいと思います。特に旧約聖書読者にとって課題となるテーマを取り上げながら各書を捉え直すことに挑戦する講座です。受講者は取り上げる聖書箇所をよく読んでご出席ください。クラスではそれぞれの肩書きを超え、尊敬し合いながら共に学べるよう知恵を出し合い進めます。旧約に関する基礎知識を得るだけではなく、この時代を生き抜く、優しさや粘り強さを耕すことが目標です。牧者として働くことを希望する方々にとっての聖書解釈の「ことはじめ」です。研究史に触れ、より深い学びへと進む意欲につながることを目指します。最後の回は受講生からの発表を予定しています。

テキスト：『聖書 新共同訳』日本聖書協会ほか、鎌野直人『旧約聖書ガイドブック 三十九巻それぞれを読むために』いのちのことば社2024年、J. ゴールディング『神の物語としての聖書』教文館2022年 **参考書**：越川弘英『旧約聖書の学び』キリスト新聞社 2014年、トーマス・レーマー『100語でわかる旧約聖書』白水社2021年、長谷川修一『旧約聖書の世界と時代』日本キリスト教団出版局2011年 他、適宜講座内で紹介する

火 「神学入門」～神に思いを巡らせる旅を共に (講師：濱野 道雄)

神学とは何か、と一緒に考えます。神学の定義も、現代の教会の宣教状況と共に見直されつつあります。だからこそ、神学抜き教会はないし、教会抜きの神学は無いのでしょうか。また神学は近代以降、聖書神学、歴史神学、構成(組織)神学、実践神学という4分野に分けられることが多くあります。そう分けることの弊害も考えつつ、便宜的にその分類に沿って概要、トピックス、課題を概観していきます。授業では、前回授業の応答への再応答、講義、質疑応答、神学テキスト講読、ディスカッションを毎回行います。単位取得者には、毎回の神学テキストから、その要約と考察を20分程度発表してもらいます。「信徒の神学を求めて」、できるだけ分かりやすく語り合えば幸いです。

テキスト：基本的に毎回、前の回までに様々な神学テキストを指定し、コピーを配布します。

木 「ギリシア語Ⅰ」～みんなで楽しくギリシア語に挑戦！ (講師：平野 健治)

新約聖書はギリシア語で書かれました。ギリシア語を理解すると、聖書の奥深さをより味わうことができます。また説教準備でもギリシア語の知識を必要とする場面が多くあります。この講座では原典理解と説教準備のためにギリシア語の文法を学びます。語学の学びはどれも苦しいことがあるものです。どのようにすれば楽しく学ぶことができるのでしょうか？歌を歌いながら楽しく学んだり、簡易なテキストを使って達成感を大事にすることにしました。ともに楽しく学びましょう。もちろん復習なしには習得・活用することはできません。復習の時間もしっかりと確保してください。また聖書の原典を読むことは、ギリシア語Ⅱで行います。間を置かずに履修することをお勧めします。

テキスト：野口誠『聖書検定ギリシア語【初級】【上級(中級を含む)】』一般社団法人聖書検定協会 **参考書**：『ギリシア語新約聖書釈義事典』教文館(3冊セット)、大貫隆『新約聖書ギリシア語入門』岩波書店

木 「牧会学」～今という時代と魂の配慮

(講師：林 健一)

牧会学は、教会内外における牧会の使命と実践に関する神学的、実践的な理解を深める学問です。本講義では、現代という時代背景を踏まえながら、「魂の配慮」という観点から牧会の本質について学びます。特に「力の支配によらない」牧会の在り方を探求し、牧師としての役割や使命について考察します。参加者は教会の共同体の中で、牧会を学びつつ、自らの視点を深め、共有します。この講義は、牧師を目指す方だけでなく、教会共同体における役割や責任について学びたい信徒の方にも開かれています。【目的】①現代社会の中で牧会の意義を理解する。②力の支配によらない牧会の可能性を探る。③牧師の使命を深く考える。

テキスト：『牧師とは何か』(越川弘英、松本俊之 日本キリスト教団出版局) **参考書：**『牧会学入門』(チャールズ V. ガーキン 越川弘英訳 日本キリスト教団出版局)、『牧会ってなんだ? 現場からの提言』(越川弘英編著 キリスト新聞社)

金 公開講座 「説教学Ⅰ」～神の言葉を伝えるということ・分かち合うということ (講師：片山 寛)

説教とは何か、という問題は、説教学の序論であると同時に、最後まで説教学に伴いつづける課題です。説教者は往々にして、いつの間にかこの課題を忘れてしまい、自分には説教者の資格があるとか、来週も説教壇に登るのは当然だ、というような錯覚に囚われてしまいます。これは決して自明のことではないのだ、自分は資格なきままにこの課題に挑戦しているのだ、という心の震えを失わない説教者は、恵みを受けます。説教学の前期は、説教の本質とその歴史について学びます。説教学は実践神学の一部門だというだけでなく、これこそが「神学」という学問の故郷であり、目的でもある。そのことを学びたいと思うのです。

テキスト：ありません。毎回、私が送る資料がテキストの代りになります。 **参考書：**ルドルフ・ボーレン『説教学Ⅰ、Ⅱ』(教団出版局1977、78年)

金 「礼拝学Ⅰ(賛美歌学)」～みんなで知る賛美歌の背景と信仰のメッセージ (講師：江原 美歌子)

賛美歌を聖学的、神学的、文学的、音楽的、歴史的視点から学び、礼拝においていかに賛美歌を用いるかを研究すると同時に、賛美歌の機能を知り、さらに豊かに賛美歌を用いる方法を学んでいく。礼拝、諸集会での賛美歌選曲の一助として、日本バプテスト連盟発行「新生讃美歌」の歴史、他の賛美歌の賜物についても特徴を押さえていく。また現代の賛美歌の動向を知り、今求められている賛美歌の詞の内容(宣教課題)を研究する。

賛美歌を様々な角度からアプローチし、集中して学ぶよい機会です。特に賛美歌選曲には重きをおいていますので、教会での礼拝、諸集会で実践応用することができます。礼拝に参与する会衆、そして礼拝を整える働きに従事される方、全てにお勧めするコースです。

テキスト：『新版 賛美歌—その歴史と背景』(原恵/横坂康彦著、日本キリスト教団出版局) **参考書：**『新生讃美歌ブックレット』(日本バプテスト連盟)、『みんなのさんびか』(NewSong 企画、2025 発行予定)

土 公開講座 「合唱」 (講師：山中 臨在)

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさそしてその意義を、合唱を通して学ぶ。また、神学校の入学式、卒業式、演奏会等で神学校聖歌隊として奉仕する。

本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。オリジナル曲を含めた聖歌隊用アレンジ曲やオラトリオ合唱曲などを歌う。

テキスト：授業にて楽譜を配布。数百円程度の実費をお支払いください。

土 「音楽基礎・実践」～楽典・ソルフェージュ (講師：十時 節子)

楽の基礎として、【楽典】【視唱】【リズム】【読譜】【聴音】など実習を通して学んでいきます。特に読譜に必要な音楽知識はこれから学んでいきますので、教会音楽科の学生だけでなく賛美歌をリードし、新生讃美歌を正しく理解するために神学科の学生にも是非受講をお薦めいたします。豊かな賛美を捧げるためにも楽譜の中に隠されている暗号を解読し、教会音楽の実践として活用できるように音楽力を身につけましょう。

テキスト：『楽典がすいすい学べる本』土田京子 著 ヤマハ出版・新生讃美歌 **参考書：**『楽典 理論と実習』音楽之友社、『総合ソルフェージュ』鈴木憲夫著 カワイ出版